

指定避難所となっている公立社会体育施設を耐震化し、 利用者の安全を確保する

【対策】15 公立社会体育施設の耐震化対策

対策概要: 過去に生じた幾多の大地震等では、構造体の耐震化が未完了の公立社会体育施設において甚大な被害が発生したことから、倒壊等の被害の生じる可能性がある、耐震化が未完了の公立社会体育施設について、耐震化整備を実施する。また、全国の公立社会体育施設を対象に、災害時に落下・倒壊等により人命に関わる重大な被害が懸念される屋根や外壁、内壁、天井等について、耐震性や劣化状況に係る安全性に課題がある公立社会体育施設について、耐震対策を実施する。

府省庁名: 文部科学省

【事例】堀金総合体育館耐震化事業(長野県)

- 実施主体: 長野県安曇野市
- 実施場所: 長野県安曇野市
- 事業概要: 安曇野市は、糸魚川-静岡構造線断層帯が存在すると言われており、有事の際は最大震度7の地震が想定されている。そのため、架構部の一部が耐震基準を満たしていなかった堀金総合体育館の耐震補強や非構造部材の落下防止工事を実施した。
- 事業費: 約9億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約0.4億円)
- 効果: 利用者が安全で安心して施設を使用できるようになったとともに、指定避難所としての避難施設や物資の輸送拠点としての機能強化も図られた。



対策前

耐震補強工事



令和5年3月対策完了



屋根のブレース補強